

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
公告方法	当社ホームページ https://www.nkkswitches.co.jp/において、電子公告いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に公告いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- ・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
- ・単元株式数の変更、株式併合に関するご案内
当社は、平成29年10月1日を効力発生日として単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに10株を1株に併合いたしました。
なお、この株式併合および単元株式数の変更に伴う株主様による特段のお手続きの必要はございません。

NKKスイッチズ株式会社

■お問い合わせ

〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
総務部：TEL.044 (813) 8025 FAX.044 (833) 5270

第65期中間報告書

平成29年4月1日 ▶ 平成29年9月30日

NKKスイッチズ株式会社

グループ販売強化項目の売上が好調。 新中期経営計画「Change100」の達成に向け、 さらに会社を変化させてまいります。

代表取締役社長

大橋智成



この半年間の産業用スイッチ業界の状況と、 業績の概況をお聞かせください。

当上半期における世界経済は総じて緩やかな回復基調で推移し、日本経済も企業収益の底堅さが継続するなど、改善傾向が続きました。産業用スイッチ（操作スイッチ）市場も半導体、自動車、スマートフォン関連が好調でした。

こうした中、当社グループは2017年4月から新中期経営計画「Change100」をスタートさせ、「グローバル化対応」と「勝てる武器の創造」を推進し、ソリューションビジネスに着手するなど、積極的な施策を展開いたしました。売上面では、グローバル特定市場である放送音響機器、特殊車両、医療機器の販売強化に努めました。放送音響機器は北米市場でやや低調だったものの、トータルでは目標を上回りました。開発面では、タイムリーに製品が開発できる体制が軌道に乗りつつあり、4件の新製品を市場に投入。生産面では、フィリピン・マクタン工場への生産移管が9月末時点でグループ生産高の26.1%に達しました。次世代を意識して投資した内容が、効果を上げており、今後は製造リスク分散だけではなく、利益面でも貢献するものと期待しております。

地域別の概況では、日本市場ではグループ販売強化項目を

中心に積極的に展開し、外部顧客向売上高は前年同期比8.6%増となりました。北米市場におきましては、販売体制の抜本的見直しやカタログディストリビューターを中心とするネットセールスが記録的に伸び、為替の影響もあって売上高は同16.0%増となりました。アジア市場におきましては中国・新興国ともに特定市場を中心に積極的に市場開拓に努め、外部顧客向売上高は同13.9%増となりました。

これらの結果、当社グループの2018年3月期上半期における売上高は37億5千1百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は1億8百万円（前年同期は1億9千8百万円の営業損失）、経常利益は1億1千5百万円（前年同期は2億9千8百万円の経常損失）となりました。

ソリューションビジネスの進捗は いかがでしたか。

今までNKKは、技術的に優れているもの、世の中のないものを作れば、お客様は自然に来てくれると考えていました。しかし時代は大きく変化し、必ずしも良い製品を市場に投入したからといって売れる時代ではなくなりました。今後当社グループは単なる「もの売り」から、「こと売り」へとシフ

トし、お客様の困りごとを解決すべく、ソリューションビジネスを提供していきたいと考えております。

しかしながらソリューションを提供することはそんな容易いことではありません。まずはタッチパネルから進めることとし、お客様の困りごとを解決していくための体制を整え、現在代理店網を通じて新たなサービスの提供を5月から開始しました。これにより従来、タッチパネルを不得意としていた代理店からも引き合いが大幅に増加してきております。今後は現在のソリューション体制を一層強化するとともに、SW事業についても体制を確立していきたいと考えています。

新コーポレートスローガンに込めた 想いをお聞かせください。

当社グループはこれまで「国際性」「先進性」「信頼性」「スピード感」といったブランドイメージを踏まえて2009年にはブランドマークをリニューアルし、2014年に社名をNKKスイッチズへ変更いたしました。

今回コーポレートスローガンの策定にあたっては、創立当初からの武器である「品質・技術」を世界で確固たるものとするべく「信頼性」を前面に出し、これをもってNKKブランドを認知していただきたいと考えました。当社グループは「Innovation Driving Quality…品質へのあくなき追求」を実現することで社会に対する責任を果たしてまいりたいと考えております。

全国発明表彰特別賞受賞について どの点が評価されたとお考えですか。

当社は公益社団法人発明協会が主催する平成29年度全国発明表彰において「有機ELディスプレイ フルスクリーンカメラIS」の画像表示装置付き押ボタンスイッチの意匠が、日

本商工会議所会頭賞（特別賞）および発明実施功績賞を受賞いたしました。

従来のISは表示部に液晶材の封止エリアを隠すためのフレームが存在しましたが、今回受賞したISは表示部のフルスクリーン化に成功しました。

これにより、ひとつひとつのスイッチの表現力が増すとともに、複数のスイッチを隣接配置することにより、各画面の境界のない連続した一画面と認識させることもでき、今までにないインパクトを演出することができます。このたびの受賞は、「これがスイッチ!？」という今までにないスイッチであることが高く評価されたものと考えております。

最後に、株主様への メッセージをお願いします。

当上期は市場全体が前年度下期の勢いを継続する形でスタートし、期が進むにつれて売上が伸びました。出荷額に対する受注額の割合は、すべての市場において受注額が上回っております。この事業環境は下期についても変わらず、業績に期待しております。

今、社会は大きく動いています。それに乗り遅れないよう我々も「変わる」ということを前面に出し、過去の延長線上にない施策を展開しております。現在、「世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチメーカーになる」という目標に向かって、社員一丸で新中期経営計画「Change100」の達成に向けて取り組んでおります。その効果が徐々に業績にも現れつつあります。これに満足することなく、さらに会社を変化させていきたいと考えております。

株主の皆様には今後におきましても、なにとぞご理解をいただき、これからも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度全国発明表彰 特別賞を受賞！

今回当社は「画像表示装置付き押ボタンスイッチの意匠(意匠登録第1513816号)」について、全国発明表彰「日本商工会議所会頭賞」を受賞いたしました。表彰式は、常陸宮殿下ご臨席のもと、6月12日にホテルオークラ東京において挙行されました。

全国発明表彰は、科学技術の向上と産業の発展に寄与することを目的に、我が国を代表する幾多の研究者・科学者の功績を顕彰する賞です。受賞した技術は有機ELディスプレイの額縁を極限まで細くし、さらにレンズ効果を組み合わせることにより、「額縁を意識させ無いスクリーン」を実現したもので、「フルスクリーンカラーIS」に採用しています。

NKKは今後もお客様から信頼されるブランドとして先進性と技術力にも注力してまいります。



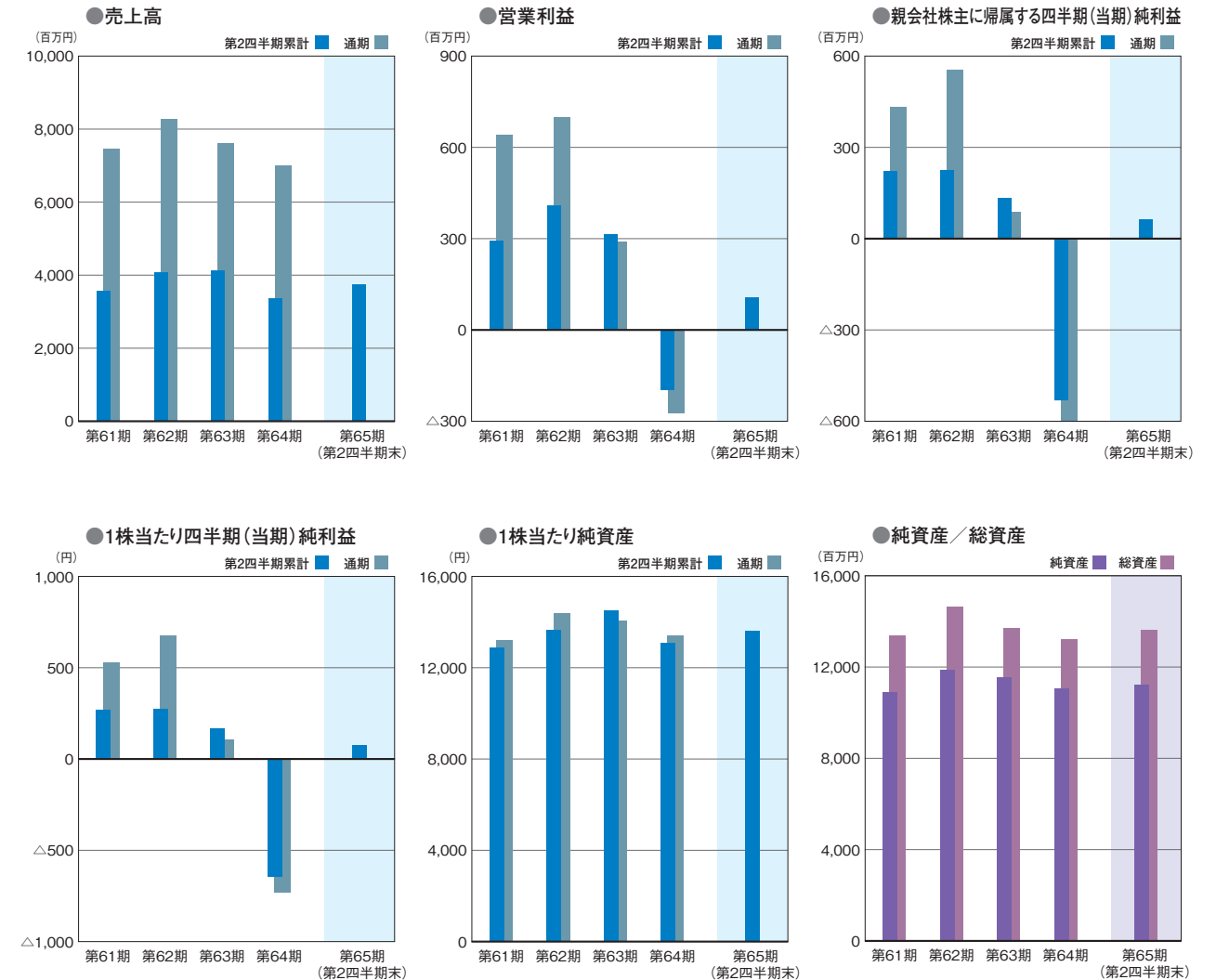
新コーポレートスローガンを決定

NKKグループは、新たにコーポレートスローガンとして「Innovation Driving Quality」を掲げました。

NKKは絶えず革新し続けることで、社会に対する責任を果たしてまいりました。中でも品質は、当社が提供する価値として最重要項目に位置付け、お客様からもご評価いただいております。改めて「品質へのあくなき追求」をコーポレートスローガンとして掲げ、社内の品質に対する意識を一層高め、社会に品質重視を宣言するものです。



NKKは今後も、世界で最も知られ、世界で最も好まれ、世界で一番選ばれるスイッチサプライヤーを目指し、邁進してまいります。



当社は、平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。第61期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益金額および1株当たり純資産額を算定しております。

■ 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結会計期末 (平成29年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産	9,627,154	9,384,375
固定資産	3,973,466	3,800,904
有形固定資産	2,215,136	2,162,903
無形固定資産	193,782	266,296
投資その他の資産	1,564,547	1,371,704
資産合計	13,600,620	13,185,280
負債の部		
流動負債	1,741,751	1,551,141
固定負債	642,717	579,464
負債合計	2,384,469	2,130,606
純資産の部		
株主資本	10,591,943	10,561,967
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,967,988	8,937,609
自己株式	△ 161,149	△ 160,746
その他の包括利益累計額	624,100	492,659
その他有価証券評価差額金	614,273	479,201
為替換算調整勘定	9,827	13,458
非支配株主持分	107	46
純資産合計	11,216,151	11,054,673
負債純資産合計	13,600,620	13,185,280

■ 四半期連結損益計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
売上高	3,751,499	3,370,372
売上原価	2,234,896	2,232,329
売上総利益	1,516,603	1,138,042
販売費及び一般管理費	1,408,017	1,336,104
営業利益又は営業損失(△)	108,585	△ 198,061
営業外収益	31,014	32,127
営業外費用	24,293	132,402
経常利益又は経常損失(△)	115,305	△ 298,336
特別損失	1,416	846
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	113,889	△ 299,183
法人税、住民税及び事業税	43,805	59,163
法人税等調整額	6,718	171,459
四半期純利益又は四半期純損失(△)	63,365	△ 529,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	60	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	63,305	△ 529,806

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	前第2四半期 連結累計期間 平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	362,522	274,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 202,535	111,914
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 33,308	△ 41,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 4,175	△ 122,768
現金及び現金同等物の増減額	122,504	222,148
現金及び現金同等物の期首残高	5,582,738	5,222,265
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,705,242	5,444,414

■ 会社概要

商号	NKKスイッチズ株式会社 (NKK SWITCHES CO., LTD.)
創業	昭和26年4月1日
設立	昭和28年12月11日
資本金	951,799千円
本社事務所	〒213-8553 神奈川県川崎市高津区宇奈根715-1
事業所	名古屋営業所 大阪営業所 福岡営業所
主な事業内容	産業用各種スイッチの製造・販売
連結子会社	NKKスイッチズ バイオニクス株式会社 NKK Switches of America, Inc. NKK Switches Hong Kong Co., Ltd. 恩楷楷(上海)开关有限公司 NKK Switches Mactan, Inc.
ホームページ	https://www.nkkswitches.co.jp/
上場取引所	東京証券取引所 (JASDAQ)

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	大橋 智成
取締役	青木 明裕
取締役	塚 正 勉
取締役	大橋 宏成
取締役	芦 澤 直太郎 (社外)
常勤監査役	中 村 正
監査役	片 山 隆之 (社外)
監査役	吉 原 重 樹 (社外)

■ 株式の状況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数	8,425,200株
株主数	607名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ビッグブリッツ	1,320	16.03
株式会社三井住友銀行	410	4.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	348	4.23
大橋 宏成	293	3.56
大橋 尚子	280	3.41
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	279	3.38
太陽生命保険株式会社	225	2.74
大橋 千津子	201	2.44
大橋 智成	192	2.34
富岡 友子	186	2.26

(注) 1. 当社は、自己株式を194千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 所有者別持株比率

